



《蝶の楽園》2016年 改組新第3回日展



時代を画す沈金加飾の探究者―

文化功労者 三谷吾一の世界

没後1周年追悼展



2018.9.8[土] - 11.5[月]

|主催| 石川県輪島漆芸美術館  
|後援| 石川県 輪島市 輪島漆器商工業協同組合

|開館時間| 9:00~17:00 最終日は16:00閉館  
(入館は閉館の30分前まで) 会期中無休

|会場| 石川県輪島漆芸美術館

|入館料| 一般620(510)円 高大学生310(210)円

小中学生150(100)円 \* ( )内は20名以上の団体料金

石川県輪島漆芸美術館文化講座 漆文化セミナー \*いずれも予約不要・受講無料  
第2回「伝統の本質を追求する 一乾漆造形を通じて―」 9月29日(土) 13:30~  
講師: 林 暁氏(富山大学芸術文化学部教授)  
第3回「文化功労者 三谷吾一氏の足跡を振り返る」 10月28日(日) 13:30~  
講師: 三谷 慎氏(彫刻作家)、角 康二氏(沈金作家・日展会員)  
細川英邦氏(輪島市産業部漆器商工課漆器産業振興室次長)



WAJIMA MUSEUM OF URUSHI ART  
石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063 石川県輪島市水守町四十番11番地  
TEL. 0768-22-9788 FAX. 0768-22-9789 <http://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/>

没後1周年追悼展

文化功労者

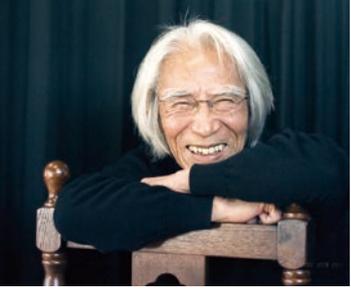
三谷吾一の世界

時代を画す沈金加飾の探究者

輪島市名誉市民三谷吾一氏は2002年に日本芸術院会員に就任、2015年10月文化功労者として顕彰され、長らく斯界の先達者として輪島塗を支え続けましたが、2017年7月、惜しまれつつ永眠されました。

少年時代に画家を夢見た三谷氏は、作家としての将来を決意し沈金の道に進みました。22歳で独立したのは独自の表現を飽くことなく追求し、ついにエルジー粉やパール粉を用い、多彩な技法を駆使した幻想的かつ色彩豊かな世界を切り拓きます。その作風が評価され、輪島を代表する作家として足取りを確かなものにしてもなお、作品世界は年を追うごとに若々しく、明るく自由な彩りに満ちあふれたものへと変化を重ねました。

本展覧会では、日本芸術院会員就任後の作品も交え、作品一筋に生き抜いた三谷氏の足跡を振り返ります。作品から流れるやわらかな旋律に耳を傾けていただければ幸いです。



撮影：相澤 實

三谷吾一氏略歴

1919年輪島生まれ。本名・伍市。塗師として開業し、活躍した三谷忠作を父にもつ。14歳で尋常高等小学校を卒業後、沈金師・藏舞洲のもとで5年間修業を積む。19歳の時に、輪島で初めて官宮の美術展・帝展へ入選を果たした前大峰に師事。1942年第5回新文展初入選。1962年日本現代工芸美術展初入選。1965年第4回日本現代工芸美術展現代工芸大賞受賞。1966年第9回日展特選北斗賞受賞。1970年にも同賞受賞。1978年第10回日展会員賞受賞。1984年北國文化賞受賞。1988年日本芸術院賞受賞、石川テレビ賞受賞。1991年石川県文化功労賞受賞。1993年勲四等旭日小綬章受章。1994年中日文化賞受賞。1999年輪島塗技術保存会会長に就任(2014年まで)。2002年日本芸術院会員就任。2003年輪島市名誉市民となる。2015年文化功労者顕彰。点彫技法を基調としながら、着色した金属粉や金属箔を併用し、従来の沈金になかった淡い色彩表現を確立した。2017年7月12日逝去。享年98。



イベント情報

- 石川県輪島漆芸美術館文化講座 漆文化セミナー
- ※いずれも予約不要・受講無料

第2回  
「伝統の本質を追求する  
—乾漆造形を通じて—」  
9月29日(土)13:30~  
講師：林 曉氏  
(富山大学芸術文化学部教授)

第3回  
「文化功労者 三谷吾一氏の  
足跡を振り返る」  
10月28日(日)13:30~  
講師：三谷 慎氏  
(彫刻作家)  
角 康二氏  
(沈金作家・日展会員)  
細川英邦氏  
(輪島市産業部漆器商工課  
漆器産業振興室次長)

●石川県輪島漆芸美術館  
友の会主催コンサート  
「大西貴浩 美しき日本のうた」  
10月7日(日)14:00開演

●「いしかわ文化の日」特別無料開放  
10月21日(日)

●輪島市民文化祭「あいの風」協賛  
特別無料開放  
11月3日(土・祝)~4日(日)

(写真右列上から)

《黄昏》2015年改組新第2回日展(加賀屋蔵)  
《悠々》2014年改組新第1回日展(個人蔵)  
《貝文 飾宮》1999年(個人蔵) / 《さえずる》  
2013年第45回日展(加賀屋蔵) / 《鳥と少女》  
2013年第52回日本現代工芸美術展(個人蔵)  
《鳥の散歩》2008年第47回日本現代工芸美術展(法相宗大本山薬師寺蔵)



WAJIMA MUSEUM OF URUSHI ART  
石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063 石川県輪島市水守町四十剱11番地  
TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789  
URL <http://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/>

- 交通案内 飛行機：羽田空港→約60分→のと里山空港→車→約20分→漆芸美術館
- 車：金沢市内→のと里山海道路利用→約100分→漆芸美術館  
(自家用車・大型バス駐車場有(無料))
- バス：金沢駅→北鉄奥能登バス輪島特急→約120分→道の駅 輪島ふらっと訪夢「輪島駅前」下車  
乗換え→のらんけバス 海コース→約10分→「漆芸美術館」下車
- 徒歩：道の駅 輪島ふらっと訪夢「輪島駅前」→約15分→漆芸美術館

次回展覧会案内  
「重要無形文化財保持団体秀作展  
日本の伝統美と技の世界」  
11月10日(土)~12月10日(月)

本券1枚につき8名様まで  
団体料金で入館できます。  
割引券